

港湾護岸

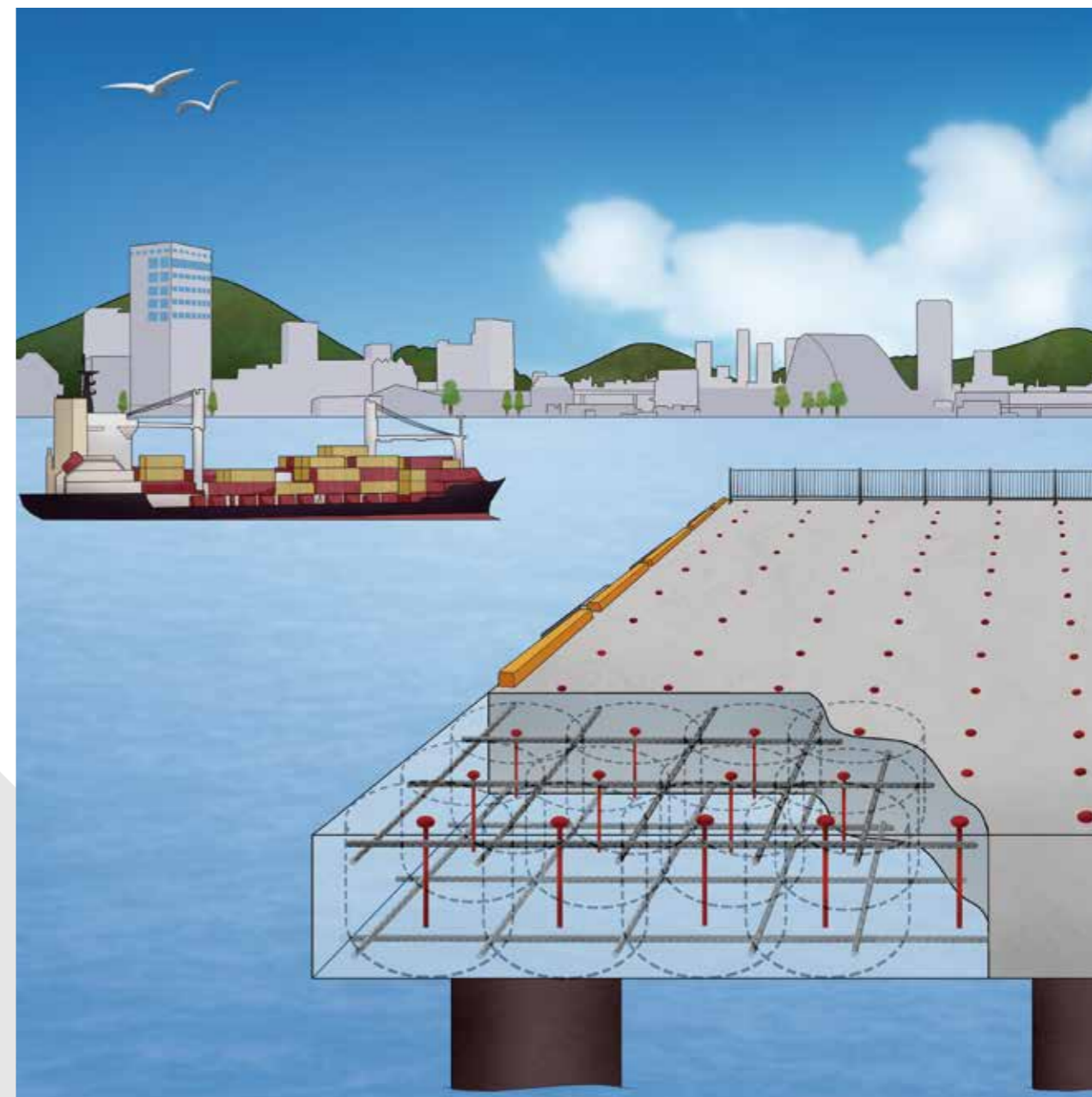


栈橋梁・床版



橋梁桁端部

# 鉄筋コンクリート構造物の電気防食 チタンロッド内部挿入陽極工法



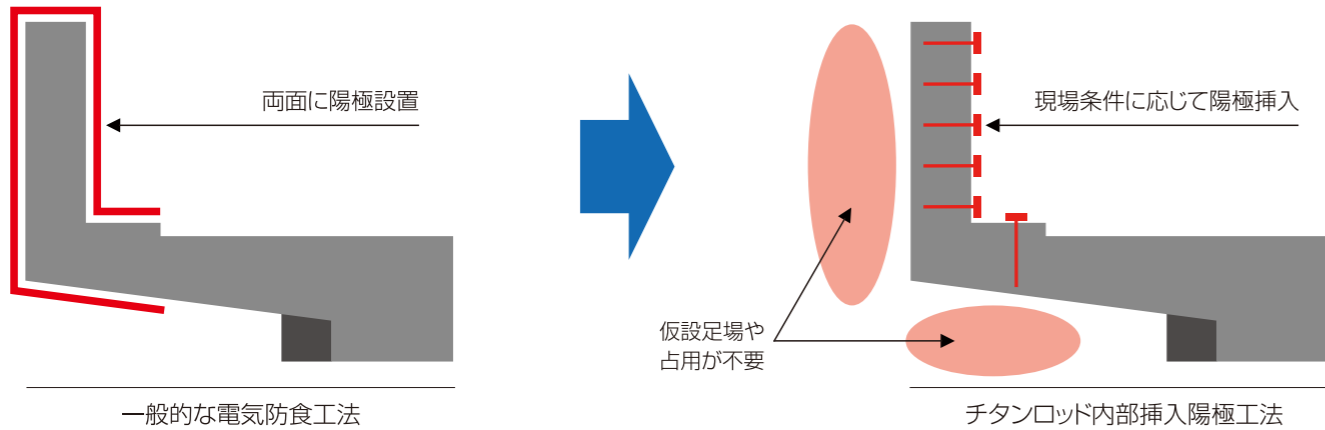
チタンロッド内部挿入陽極工法は棒状に加工したチタン製の陽極をコンクリート表面からコンクリート内部に挿入・設置する外部電源方式の電気防食工法です。

## 特長

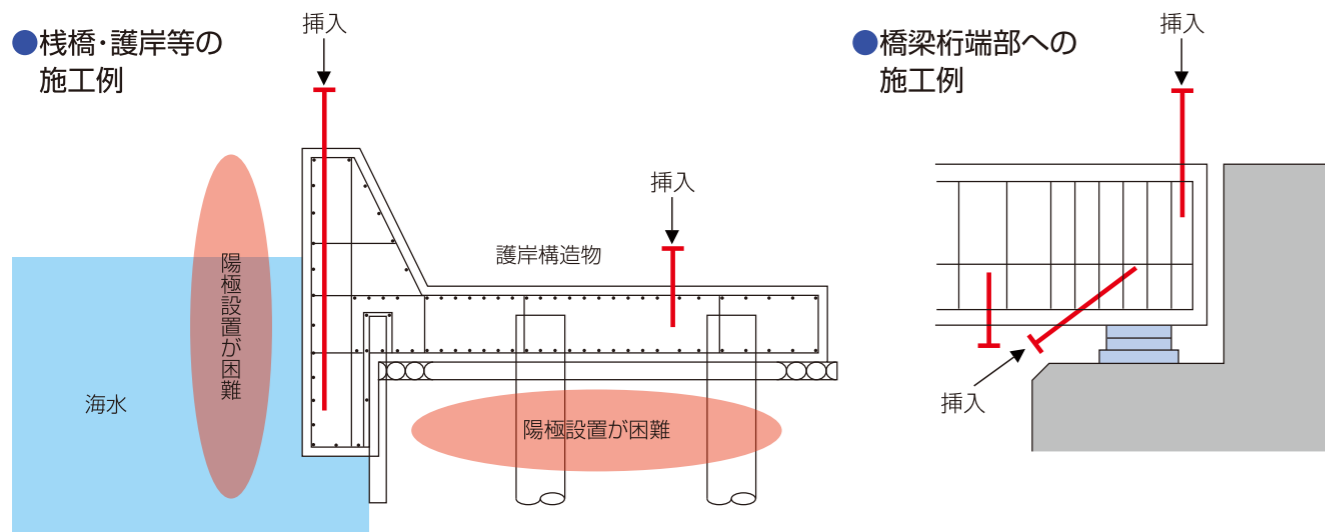
- ◆一般的な電気防食工法(面状陽極、線状陽極)は構造物の表面に陽極を設置しますが、チタンロッド内部挿入陽極工法は**構造物の内部に陽極を挿入**します。
- ◆施工する面が限定されないため、**あらゆる方向から陽極を挿入**できます。
- ◆コンクリート内部から防食するため、**通電の障害となる構造物の塗膜の除去が不要**です。
- ◆コンクリート内部から防食電流を供給するため、**鉄筋のかぶり厚が薄い場合でも電流集中や陽極との短絡が発生しにくく、かぶり厚に影響されにくい電気防食工法**です。
- ◆陽極ロッド頭部に内蔵されている抵抗体により、**電流が流れやすい湿潤部においても電流集中を軽減**できるので、**安定した電流分布が得られます**。

## 施工面が制限される箇所への適用例

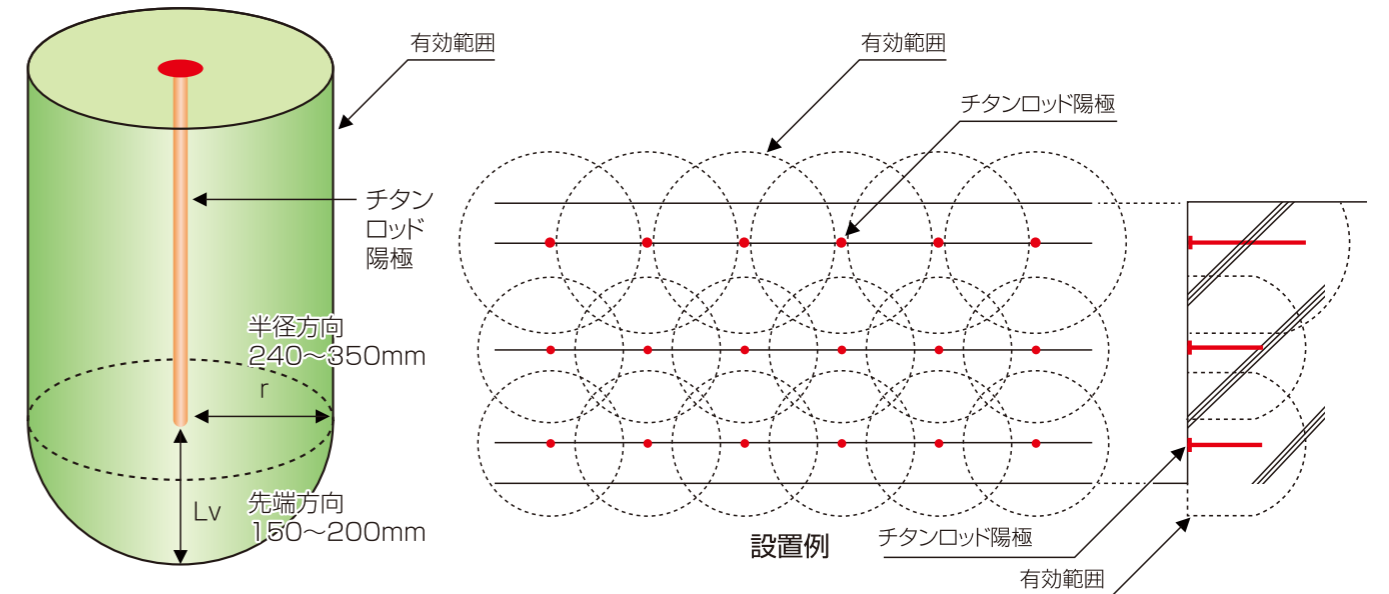
### ● 橋梁高欄等の施工例



### ● 栈橋・護岸等の施工例



## 防食範囲イメージ



一般的な既設構造物における有効範囲(mm)

ロッド長さ(L)	50	100	150	200	250	300	350	400
半径方向有効範囲(r)	<240	<270	<290	<310	<320	<330	<340	<350
ロッド先端方向有効範囲(Lv)	<150			<200				

※詳細は設計マニュアルをご参照ください

## 施工手順

### [1] 墨だし・鉄筋探索



### [4] 結線工



### [2] 陽極設置



### [5] 配管配線工



### [3] 陰極・照合電極設置



### [6] 通電調整工

